

## タイのフードデリバリー

サワディーカップ。岡山県タイビジネスサポートデスク担当の辻です。

日本でも近年フードデリバリーが浸透し、新型コロナウイルス感染症の影響下でさらに認知が高まったと伺っています。ここタイでは、昔から飲食店でも屋台でもテイクアウトの文化があり、デリバリーもお店ごとに行われていました。3年ほど前からはタイでもスマートフォンでの決済が広がり始めたのをきっかけに、スマートフォン上で料理を選んでオーダーできるフードデリバリーアプリが浸透し始めました。従来デリバリーサービスを行ってきた飲食店や屋台がこのアプリに名前を連ねただけでなく、新たにデリバリーを開始する飲食店もあり、今では大手4社が激しい競争を繰り広げています。このコロナ禍では3月22日～5月3日まで飲食店店内での食事が禁止（テイクアウトとデリバリーのみ可）されたため、更に各社業績を伸ばしているようです。

今回は当オフィスのタイ人スタッフによるタイのフードデリバリー業界についてのレポートをお伝えします。

### ～フードデリバリーサービス事業が盛んなタイの事情～

こんにちは。岡山県タイビジネスサポートデスクのタイ人スタッフ、グラフと申します。

ここ数年、日常生活を楽にするスマホアプリが世界にどんどん普及しています。特にタイをはじめ、東南アジアでは驚くほどシェアエコノミーサービス事業が盛んです。乗車拒否をすることが多いタクシー（タイではなかなか解決できない問題です）より、ちゃんと目的地まで連れて行ってくれる車配サービスアプリはもちろん、最近では屋台からレストランまでの食事をデリバリーするサービスアプリも急速に流行しています。

タイのフードデリバリーサービスの特徴はサービス料が安く、屋台にも対応できるため、現地の人だけではなく、駐在員も利用するようになりました。使用方法はフードデリバリーサービスアプリをダウンロード、会員登録、自分の好きなお店とメニューを注文するだけで、注文した料理が家に届きます。また、注文から指定した場所に届くまでのプロセスステータスはもちろん、デリバリースタッフの現在地までリアルタイムに分かります。今までのお店のデリバリーサービスと比べるとかなり便利になりました。

## 【フードデリバリーサービス市場の成長とともに発生する課題】

フードデリバリーサービスの利用者の増加とともに発生する課題は、テイクアウト用のビニール袋やプラスチック容器などの、リサイクル困難なゴミが増えることだと考えられます。タイでは元々ゴミ問題の解決ができていない現状ですが、スマホ時代とともに消費者心理が変わり、ゴミが発生するフードデリバリーサービスの利用が増えると、ゴミの増加はこれから大きな社会問題になるかもしれません。そのような問題への対策を講じるために、リサイクル可能な素材の容器を採用することや、アプリ内に「スプーン・箸不要」のオプションを追加するなど協力を呼び掛けています。

## 【タイのフードデリバリーサービス市場と傾向】

東南アジアでのフードデリバリーサービス市場は2022年までに5~7倍成長するとある企業は予測しています。現在、市場のプレイヤーは何社かありますが、誰でもこの市場に参入できると思われます。しかし、この市場の競争に勝てる者は多くのお客様のニーズ情報を収集して、それを活用できる者のみでしょう。その情報を取得するために、自分たちのサービスを利用するお客様の数を増やし、終わりのないお客様のニーズをよりの確に対応できるようサービスを改善し、アプリの利用者を増やす必要があります。この市場に参入するのは簡単と言えば簡単ですが、激しい競争に打ち勝つためには、現状のサービスに止まらず、新しいサービスを開発する必要があります。

日本でもフードデリバリーサービスアプリが広く普及してきていますが、特定の地域だけではなく、世界的にフードデリバリーサービス事業が成長する傾向にあります。今まではサービスだけではなく、時代と利用者の生活に合わせて新しいサービスを開発し、ニーズのある市場に提供できれば、新しい市場の最初のプレイヤーとして、多くのデータを取得できるでしょう。もし、新しく良いビジネスアイデアが成功すれば、企業の利益・成長だけではなく、世界の人々の生活を変えられる力を持つ企業になることができると思われます。

### 岡山県タイビジネスサポートデスク *Asia Alliance Partner Co., Ltd.*

所在地：1 Glas Haus Building, 12<sup>th</sup> Floor and Room 502, 5<sup>th</sup> Floor, Soi sukhumvit 25,  
Sukhumvit Rd., Klongtoey Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand

担 当：辻 三朗（つじ さぶろう）

「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています（岡山県から [Asia Alliance Partner Co., Ltd.](#) に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県タイビジネスサポートデスク](#)」利用の手引きをご覧のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

#### 【免責事項】

■情報の掲載内容には万全を期しておりますが、その正確性、完全性、有用性、適用性についていかなる保証も行いません。また、その利用により生じた被害や損害に関して一切の責任を負いません。